

秋山孝ポスター美術館 長岡
2009年夏 開館予定



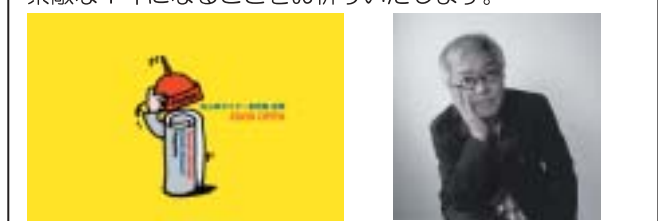
大正時代の建築が、
秋山孝ポスター美術館
長岡に生まれ変わる！
(北越銀行旧宮内支店)
お楽しみに!!!

秋山孝ポスター美術館 長岡
サポーターズ倶楽部 会員募集中!!

「サポーターズ倶楽部」の会員を募集しております。
会員様へオープン記念イベントのご案内をお送りする予定です。
皆様の応援メッセージをお待ちしております。
お問合せ/ 嵯高田建築事務所 0258(36)1230まで

OPEN記念オリジナルカレンダー完成!!

弊社からお届けする2009年のカレンダーは、秋山孝ポスター美術館長岡のオープンを記念して作成させていただきましたオリジナルカレンダーです。
秋山孝先生から描いていただいたリブチの森の“このは”や“鳥”や“トンボ”のかわいいキャラクターたちが1年間を道案内してくれます。どうぞ可愛がってください。
皆様の2009年が、ワクワク・ドキドキの楽しい素敵な1年になることをお祈りいたします。



秋山 孝 Akiyama Takashi
1952年新潟県長岡市生まれ。
多摩美術大学卒業。
東京芸術大学大学院修了。
多摩美術大学教授。
上海応用技術学院客座教授。
1986年自然保護ポスター
「WILD LIFE - HELP」でフル
シャワ国際ポスタービエンナー
レ・金賞、1998年インド核実験
反対のポスターで国連賞、イタ
リア・コニーユ国際自然映画祭
ポスター指名コンペ1席を受賞
する。フィンランド、メキシコ、イ
タリア、ウクライナ、中国で国際
ポスター展国際審査員として招
聘される。
著書に「キャラクターコミュニ
ケーション入門」(角川書店)「秋
山孝ポスター作品集」(上海人
民美術出版社)、「Chinese
Posters」(朝日新聞出版)他
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>

1984年 728 X 1030 mm Serigraphy
1986年「ワルシャワ国際ポスタービ
エンナーレ」で金賞受賞作品。
自然保護のために制作したポスター“WILD
LIFE-HELP”4部作(1-恐竜、2-防毒マ
スク、3-クジラ、4-骨格鳥)の一つである。



サイクルショップ コイデ



気軽に入れる町の自転車屋さんです。
みなさんのご来店をお待ちしております。

新潟市中央区京王3-1-25
025(286)4388 水曜:休
OPEN/10:30 CLOSE/19:00

レストラン 森のTANUKIの音楽隊



店内は開放的でゆったりとした雰囲気。
音楽好きの施主様らしく、バイオリンが飾られています。

新潟市北区太夫浜1790-2
025(259)6643
ランチ 11:00~15:00(L.O/14:00)
ディナー 17:00~22:00(L.O/21:30)
火曜:休(月曜日は昼のみ)

CLICK! ホームページ リニューアル

平成20年11月末
TAKADAホームページがリニューアルしました!!
リニューアルコンセプトは「TAKADAらしさ」。
「自由な発想」と「楽しい住まい造り」の表現を目指して、
ラビリンス(迷宮)のように複雑なホームページから、
カテゴリーを整理して、分かり易いホームページに変わりました。
これからドンボン「最新情報」を更新していきますよ!
皆さん! 生まれ変わったTAKADAホームページを
是非ご覧ください!

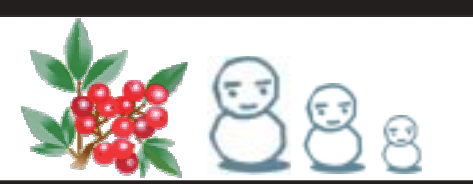


「巣舞る通信」に掲載致しました情報の一部は、当社のホームページでも詳しくUPされております。随時更新しておりますので、タカダの「今」を知って頂けると幸いです。ぜひご覧ください!

<http://www.takada-arc.com>

嵯高田建築事務所 長岡 / 長岡市旗田屋5-6-22 0258(36)1230
新潟 / 新潟市中央区女池南3-5-15 025(284)4700

巣舞る通信



冬 2008年12月

2009年スローガン
「恵鼓・顧客創造」

今年も皆様からたくさんのご愛顧いただきました事、衷心より感謝申し上げます。
振り返りますと今年も様々な出来事がありました。
来る年が希望とより良き年であることを、まずもってご祈念申し上げます。
新潟県は新潟県中越地震・中越沖地震復興で大変忙しい時間を数年過ごしました。中でも長岡は住宅特需で3年間は超多忙期を迎えたわけですが、復興対応も一段落し、その反動期を迎えることになりました。
加えて世界は今、百年に一回と言う凄い暴風の真只中におかれています。
米サブプライム問題から始まった世界的金融危機は、今まで見ていた風景を一新させる影響力を持っている様です。そして、何よりもその変化のスピードが速いことには一層の驚きです。
日本を牽引していたトヨタ自動車の渡辺社長は「まさに時代が変わった。急速に逆回転している」と業績の大幅修正をしたほどです。
まさに先の読めない時代の到来と言っているかもしれません。
確かに変革の時代の象徴として、アメリカ合衆国の次期リーダーが初のアフリカ系から選出されました。
獲得票も半端ではなく、若者票が多かったことも時代の象徴です。
変革の時代：そんな暴風の中にあればあるほど、我が家のすまいづくりは物心ともに温かである必要があります。
変わるものと変わらないもの・変わってはならないものとがあります。
わが社のスローガンに「そろそろ帰りませんか?心温まる居場所へ!リラックスする居場所へ」があります。
必要なものはたくさんありますが、本当になくしてはならないものはそう多くないのかもしれません。
「温もりのある居場所」は本当に必要なもののひとつなのではないでしょうか!本物のすまいづくりが温もりを醸し出すことは誰でもが承知しておりますが、同時に、本当にそのようなすまいづくりをすることが出来るのは「他者からの借り物ではない、我が家だけのすまいづくり」で無ければならないはず。我が家の個性と品格を大切にしたいすまいづくりこそ大切です。
そのような意味でも、多くある建築業者さんの中で弊社をお選び頂き、真剣に我が家だけの巣舞るづくりにエネルギーをかけてくださった築縁様の皆様に、衷心より敬意を表すると同時に心より感謝申し上げます。
これからもすまわれる方の個性を大切にしたい世界に一軒しかない「我が家の温もりづくり」に邁進していきたいと想います。
今後ともよろしくお願い申し上げます。

さて、宇宙に出て初めて分かる地球の美しさ!
(反面地上での反対要因とのジレンマ) 漆黒の宇宙に浮かぶ“美しい地球”を“恵みの鼓”と言い換えて、大切にしていかなければならないと2008年の重点課題は「恵鼓(エコ)創造」とさせていただき、取り組んでまいりました。
まさに生命を育む環境が与えられている恵みの星を再確認している次第です。

地球自体がエコスフィア(大前提:太陽の恵みを受けて)
「エコスフィア」は、アメリカのNASAがスペースコロニー開発のために作成したもので、中が空洞のガラス球の中に、ひとつの生態系を密封したものです。
直径16cmほどのガラス球の中に海水、空気、数匹の小エビと貝。そしてこれらの生物が暮らしやすくなるための海草と小石。さらに小エビ及び貝のえさとなる藻類とそれらの排泄物を養分に変えるバクテリアが密封されています。これらは、適度な太陽の光と温度を条件に成り立っている、ひとつの生態系を形づくっているのです。それら以外は密封された容器です。外からの干渉をすることはできません。そのままのほったらかしの状態で、なんと5、6年も生存が可能なのだといひます。(大阪教育大学教育学部附属高等学校天王寺校舎生物部ホームページより)
地球は数十億年も続いてきた、まさにエコスフィアといっても過言ではないのではないのでしょうか。
それにしても太陽の持つエネルギーの偉大さに唯驚愕するのみです。
すまいづくりも自立型循環住宅が大きなテーマとなってきております。住宅に観るエコスフィアも追求されることは必至です。
そこで来る年2009年の弊社重点課題は本年と同様「恵鼓(エコ)創造:Ⅱ」として取り組んでまいりたいと想います。巣舞るづくりは建築主様との共創です。その意味からすれば、スローガンを言い換えて「恵鼓・顧客創造」と言ったほうが適切でもあります。
目標を共有しながら感動物語を一緒につくらせて頂くことは、とても大切なことだと考えて取り組んでまいりたいと想います。
来るべき年も何卒よろしく願い申し上げます。
末筆ながら、皆様とご家族様の上にご健康と平安をお祈り申し上げます。

